靴
最高級の革を使った一流品
プロの仕事は足元から
◆特別読み切り
26ページ!!
黒き薔薇の花束を

スーツはもちろん
オーダーメイド
相手を
不快にさせない
清潔感が重要だ

時計・カフス・タイピン
金に糸目はつけない
…そして

FNファイブセブン
速やかに静やかに
仕事を遂行する

抜かりはない―
完璧な身だしなみこそ
相手への敬意であり
お届けものです
ミスター・ブランコ
愛情・純潔・奇跡・友情
薔薇は色によって花言葉が
異なります
この黒薔薇の花言葉は
俺の流儀

美しい死です

黒い薔薇!! そんな
お前があの
ジョエル
ヴァレンタイン!!

汚れきったあなたの最期を私が美しく演出します
ひいいい助けてくれ

絢爛華麗に散れ

『ミドリノユーグレ』の新鋭帰還!!
藤田勇利亜
死を彩る最凶の殺し屋登場!!!
キィン
黒き薔薇の花束を
巨弾読み切り26ページ!!

フフ キズなし
返り血なし
んんー
今日も完璧!!
カサ
カサ
カサ

!!

ひょわあああああ
虫いいいいい!!
ガシャーン
きもちわりいいいい!!

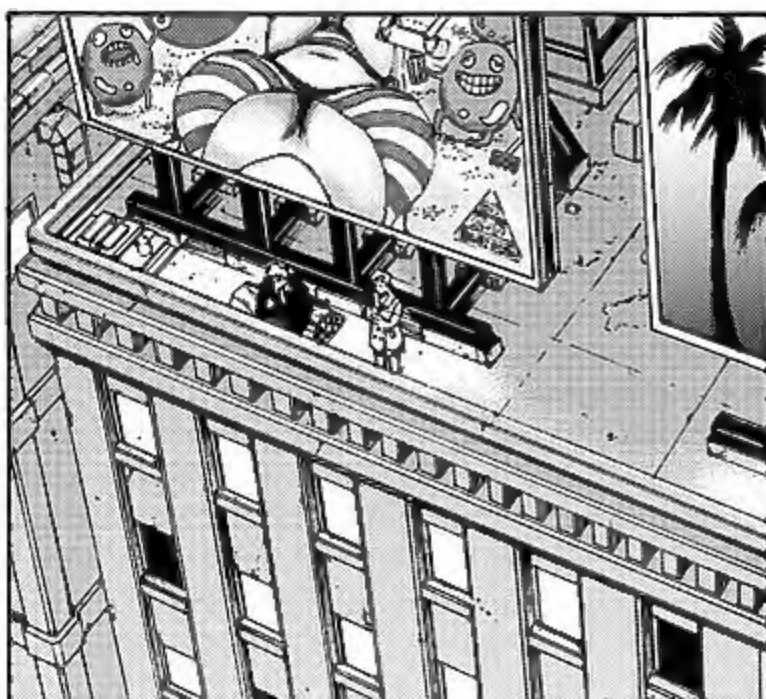
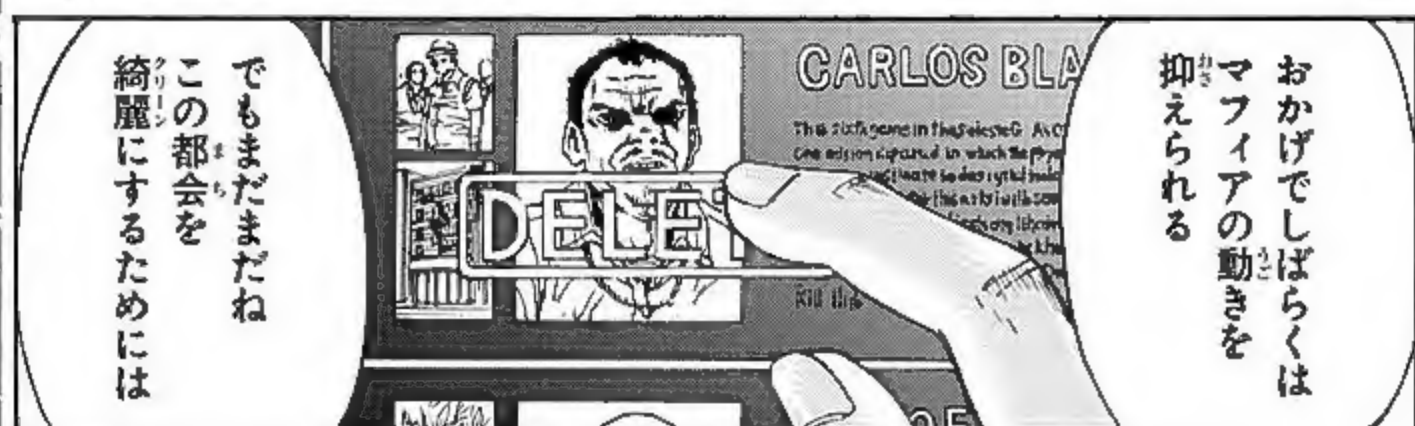
パアアア
USA NY

ごくろうさま
報酬よ
どうも

★この作品はフィクションであり、実在の個人・団体等にはいっさい関係ありません。

ウウウウウ

美しく輝く
この夜景の真下には

パン
パン
パン

殺人 強盗 ドラッグ
果ては人身売買まで
あらゆる悪意が人々を
苦しめ

市民を守る
警官すら汚職に
まみれ腐敗しきっている

暴力と犯罪が支配する
闇の世界がひろがっている

もうこれ以上
都市を汚すゴミを
放置するわけには
いかない
私はやりとげる
たとえそれが

あなたという
悪魔の手を
借りてでもね

また近いうちに
掃除をお願いするわ
"殺し屋"
ヴァレンタイン

もちろん
お待ちしております
グリーン市長

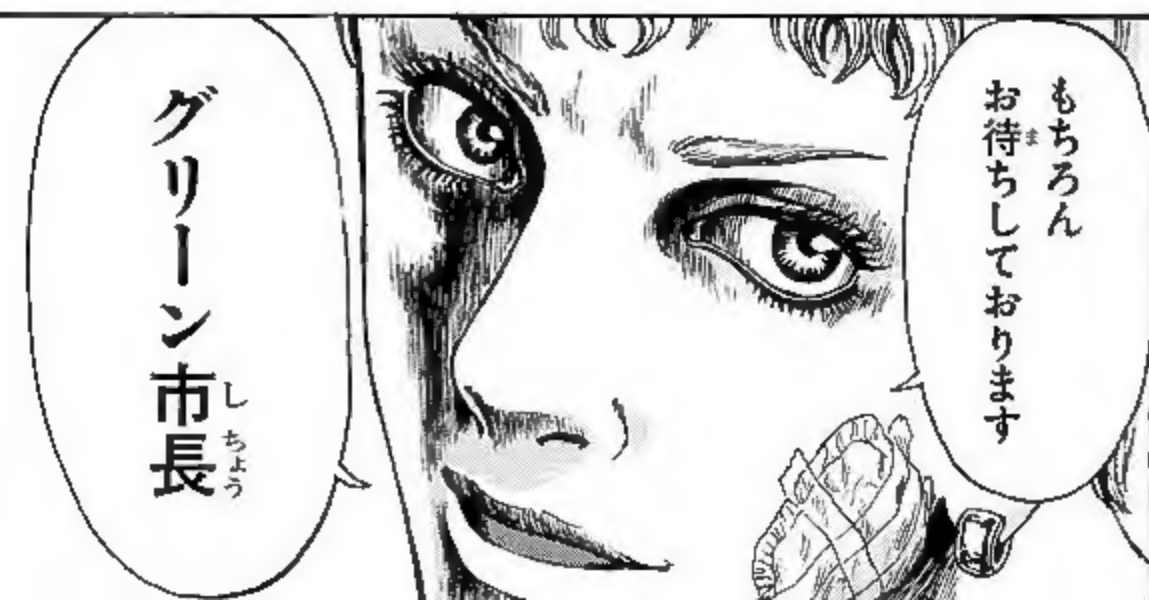
シャランラ

んー美しい
完璧!!

店長!! 忙しいんだから
接客手伝ってよ!!

んもぅ それは君の
仕事だろ

すいません

部屋に飾る
お花を探してるん
ですけど

いらっしゃいませ
美しいお嬢さん
私 店長の
ジョエルと申します

美しいあなたを
さらに美しく
当店自慢 女子力アゲアゲ
レインボーアレンジは
いかがかな?
ええ! でも
こんなに
もちろん
半額です!

またのお越しを
お待ちしております
今度は是非プライベートで
お会いしましょう

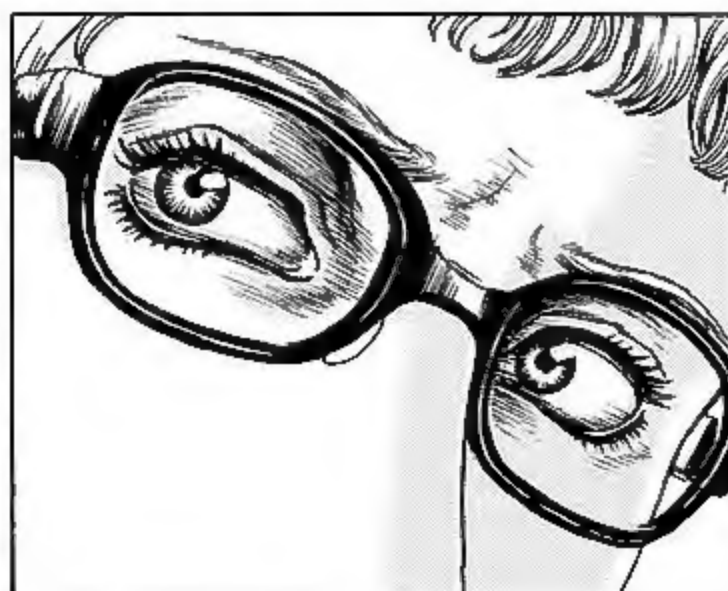
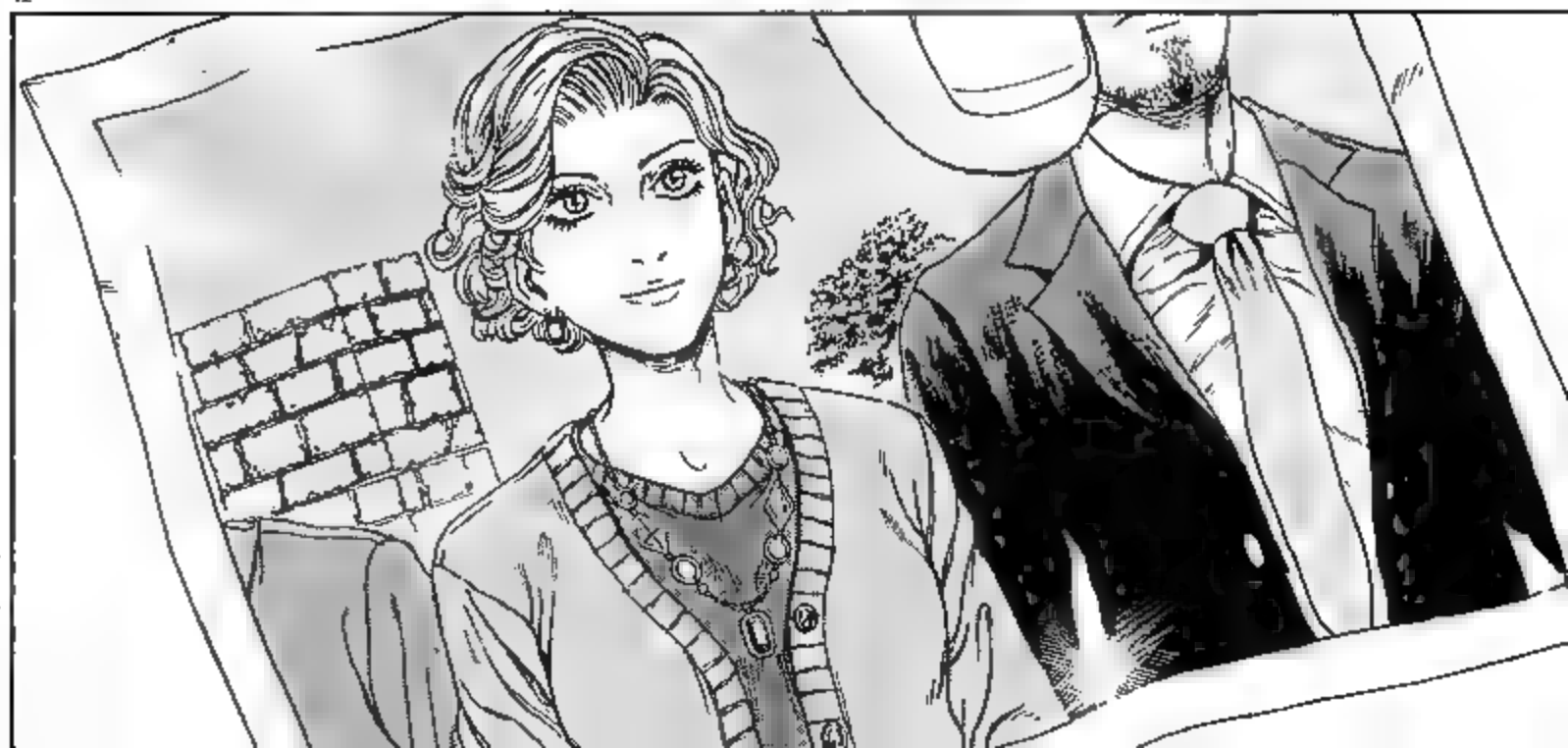
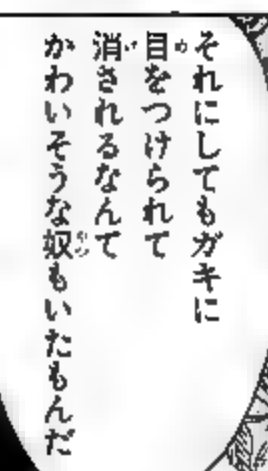
こら――!!
店長!! また勝手に
割引して!!
見栄っ張りにも
ほどがあるでしょ!!
チク
チク

シンディー君
男はみんな生物レベルで
見栄っ張りなんだよ

見栄は女性につながり
女性は愛につながる
俺は愛のために
生きるのさ

あーうざったい
虫見たくらいで大騒ぎする奴が何言ってんだか
あの生き物は俺の美意識に当てはまらないだけさ
いらっしゃい

店長――
お客さんだよ
んもーまたかい
少しはアートに集中させてくれたまえ

黒薔薇の花束届けてくれってさ

10

依頼者は？
それがさ…

……え？
うん

えっと…いったい誰に届けてほしいんだい？
っていうかなんでこの花のことを？
お金ならあるよ この人に今日中に届けて ほしいんだ

!!

わかりました
シンディー君 今すぐ花を包んでくれたまえ
は!?
ちょっと あんなガキの依頼 マジで受ける気!?
もちろん
僕がちゃんと納得して受けた仕事さ
まぁ店長の仕事だから 口出すつもりは ないけどさ…
それにしてもガキに 目をつけられて 消されるなんて かわいそうな奴もいたもんだ
ん?

時には残酷という蔦に
絡みつかれる

仕事というのは
そういうものさ

あなたに
贈り物を

届けるためです

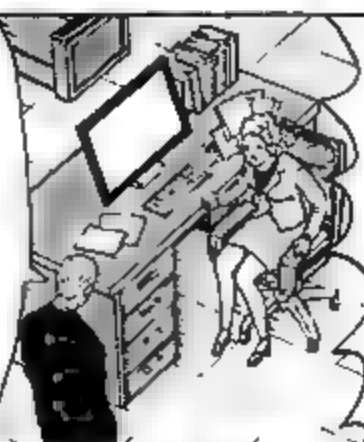
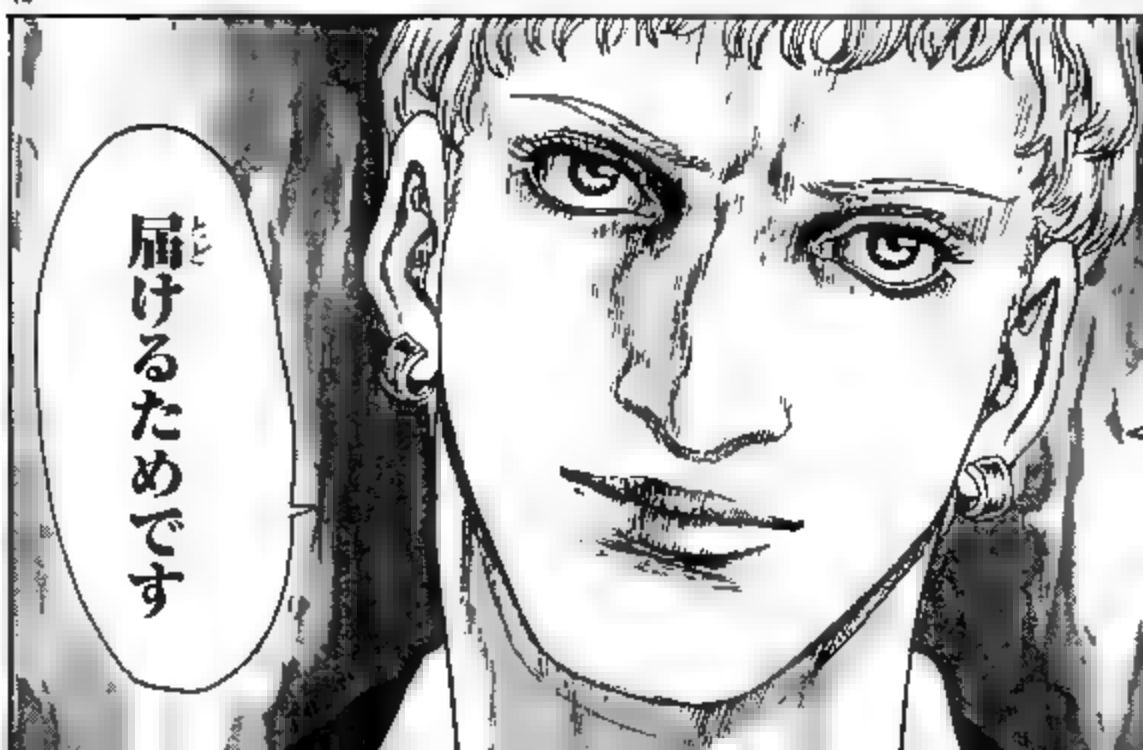
‼

私を裏切るっていうの⁉

裏切る？とんでもない

私は常に公平
誰の味方でもありません

そうだったわね
…だけど

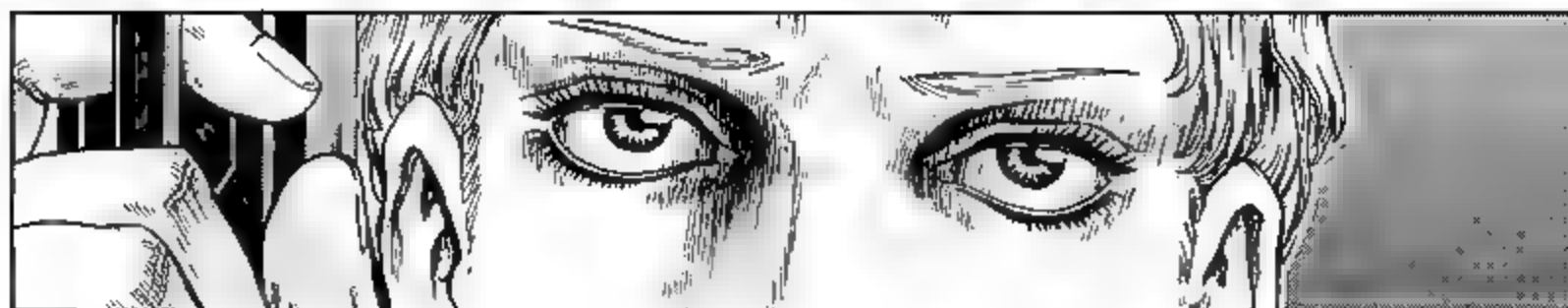
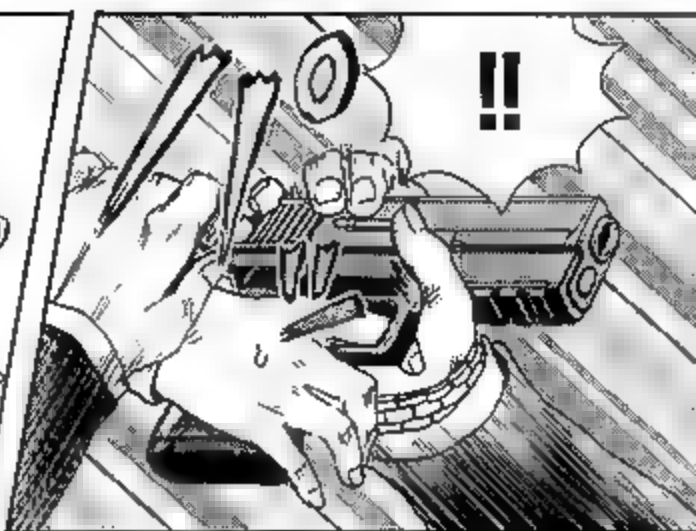
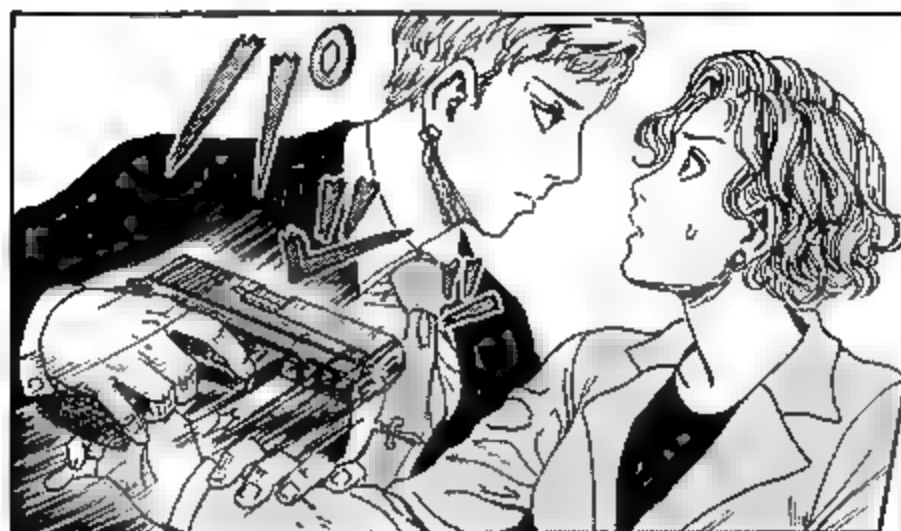
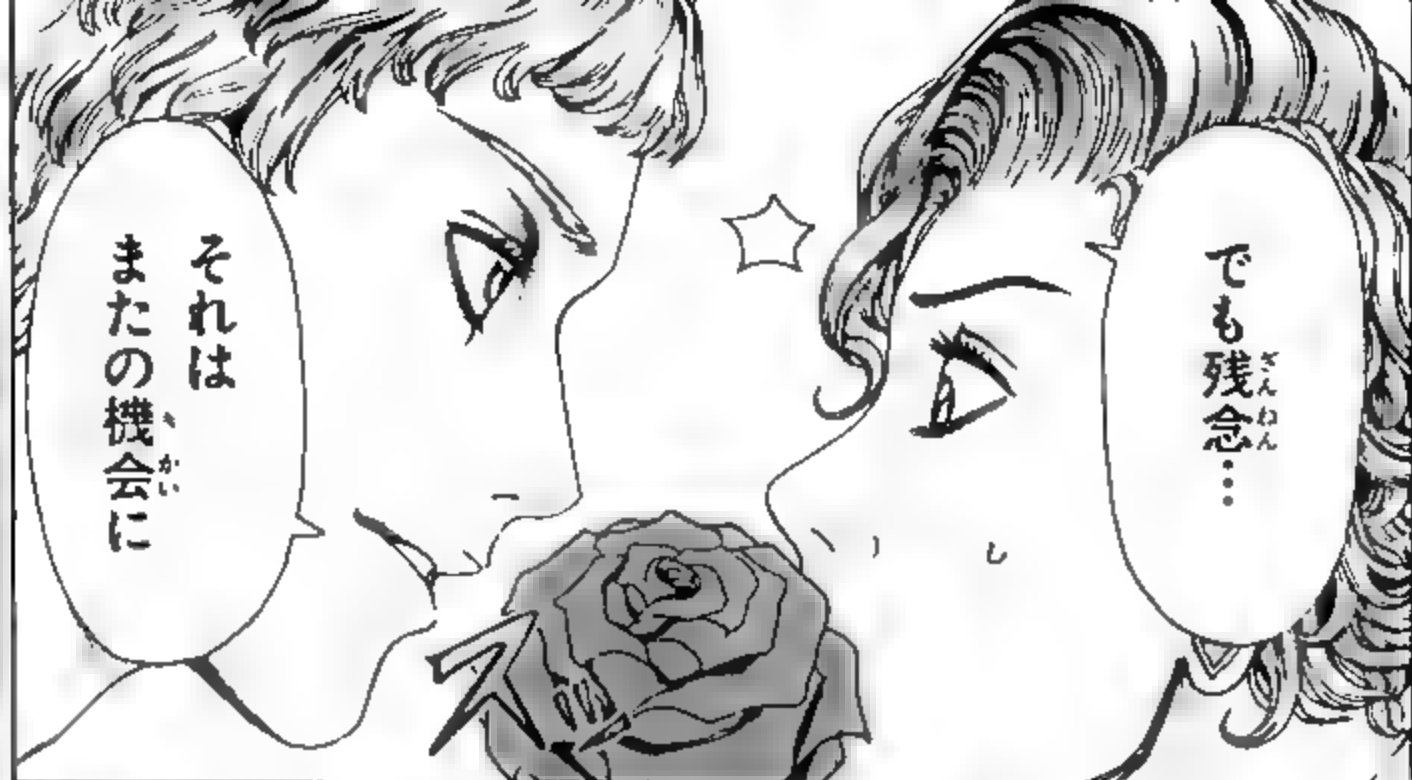
ここで殺られるわけにはいかないのよ‼

全てはこの都市の闇から子供たちの未来を守るため
そのために 私は身も心も家族さえも捨ててきたわ あなたにだって容赦しない

!!

…そうよね
いつかはこうなるとわかっていた
いいわよ あなたになら殺されても
それは光栄です

でも残念…
それはまたの機会に

今日は殺し屋としてでなく
花屋としてまいりました

…それはどういうこと?

いいですよ
彼の依頼でね

ママ！

お誕生日おめでとう!!

忙しいのにごめんね
お花屋さんにお花
届けてって言ったら

せっかくだから
サプライズしようって

だから僕もプレゼントしようと思って

好きなんでしょ 黒い薔薇

……
はい

ママ?

好きなんでしょ…

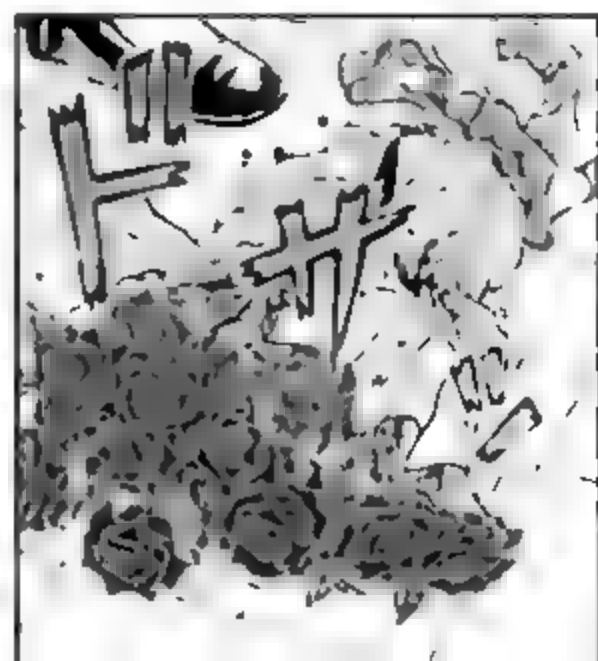
好きなんでしょ…

ママってば
ビクッ
大丈夫?
ふるえてるけど

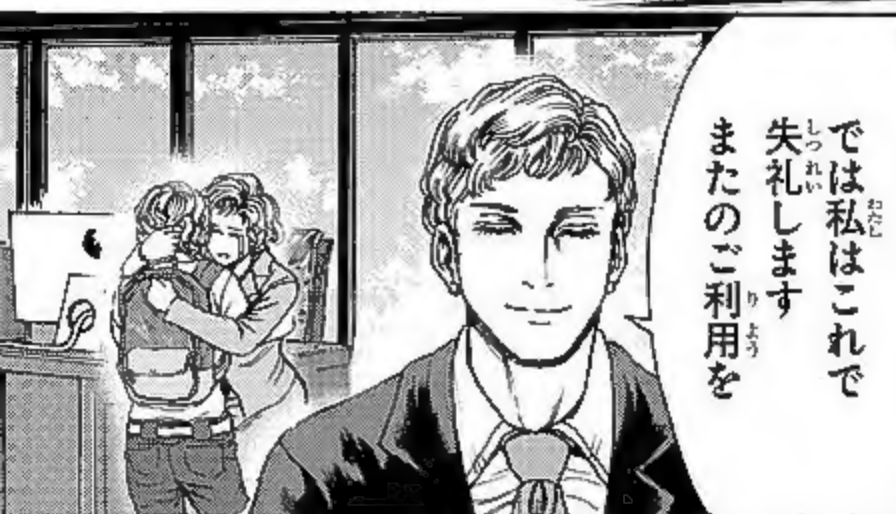
ドサッ

好きなんでしょ…

好きなんでしょ

あっママ 血が
薔薇のトゲがささったんだ!!

…ごめんママ ケガさせちゃって 気に入らなかったよね
でも他に 何あげたらいいか わかんなくて

そんなことない
とっても嬉しいわ

ありがとう
ルーチェ

では私はこれで
失礼します
またのご利用を

あ お花屋さん
待ってよ

お花屋さんのおかげで
久しぶりにママに
会えたんだ
お礼させてよ
お代はもらってるんだ
気にしなくていいよ

はい僕の宝物
あげる
ヘラクレスオオカブト
キチ
キチ

ひょわあぁあぁ
きんめーー!!

なるほどね
そーいうこと
だったの

でもまさか
あの市長に子供が
いたなんてね
仕事一筋かと思ってたけど
彼女が市長になる
前に離婚して
年に数回程度しか
会ってなかったらしい
子供も母親の仕事を
邪魔しないように
気を遣ってたんだろ
健気だよね

でもよかった
暗殺じゃなくて
店長は殺し屋だけど
女 子供は
殺さないもん

…いや
僕は彼女を
殺したよ

彼女の強い
心をね
この後
フルーツ社社長と
会食がありますが
キャンセルして

息子の純粋な心を
目の当たりにして
気付いてしまったんだ
都市のためとはいえ
自らが行ってきた
罪の意識にね
誕生日は息子と
過ごすわ

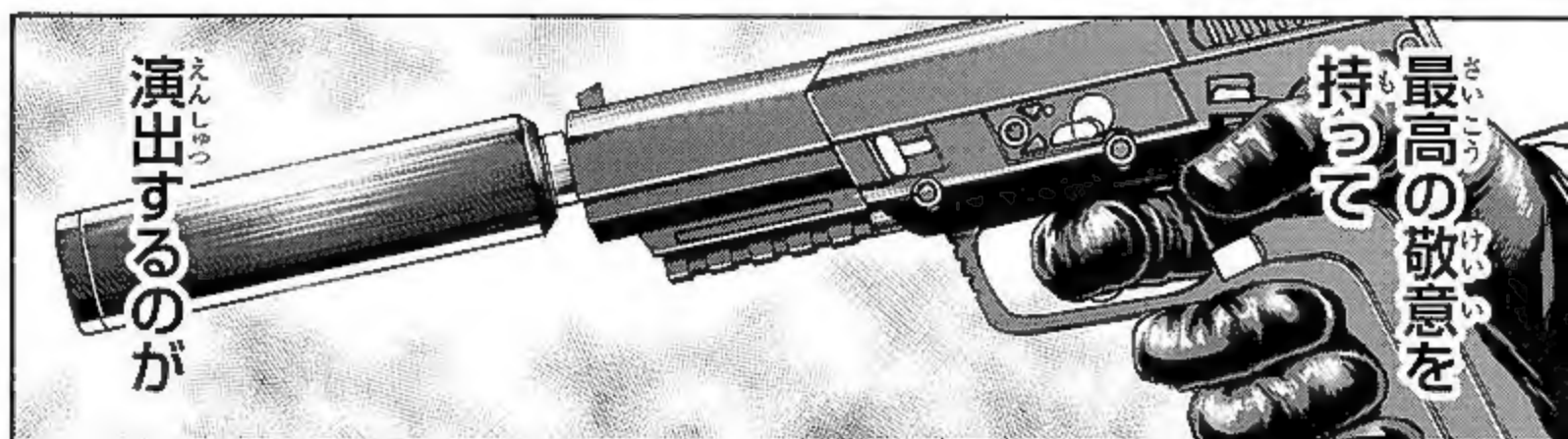
彼女の政治家生命は
終わった
もうここに来ることも
ないだろう

はぁ!? 来なくなったら
店長損じゃん
なんでそんな仕事受け…

まさか

別の客に
市長の暗殺を
依頼されてたんじゃ

ひー怖っわ!
店長こそ罪の
意識とかないわけ!?
さぞかし大金だったんでしょうね
まぁね
この悪魔!
クソ変態!

花も人も散り際こそ
美しく愛おしい

殺し屋の仕事さ

絢爛華麗に散れ

◆次の標的は…!?

黒き薔薇の花束を／完

☆藤田勇利亜先生の次回作に
ご期待ください!!